

**地域行事** 地域密着のまつりでにぎわう  
第8回合川駅春まつり

合川駅前地域活性化協議会(松岡泰穂会長)主催の第8回合川駅春まつりが、5月27日に秋田内陸線の合川駅前広場で開催され、多くの人でにぎわいました。

このまつりは、地域協働、地域密着のイベントとして、毎年春と秋の2回開催しています。

駅舎内の直売所花野果では、地元で採れた野菜などの旬の味を求める大勢の買い物客でにぎわい、屋外の駅前広場には、地元の味を堪能できる出店が並びました。また、特設ステージでは、よさこいダンスや多彩なアトラクションで来場者を楽しませました。



**地域行事** イベントを通じて地域を元気に  
第34回ふるさと踊りと餅っこまつり

第34回ふるさと踊りと餅っこまつり(和田テエ子実行委員長)が、6月3日に鷹巣駅前・銀座通りを会場に行われ、大勢の人でにぎわいました。

この日は、餅の販売やフリーマーケットが出展されたほか、ふれあいプラザ前には特設ステージが設けられ、多種多様なイベントが繰り広げられました。

ふるさと踊りでは、綴子上町の太鼓が行列を先導し、子ども太鼓、たかのすふるさと太鼓や各地区婦人会、鷹巣小児童など約600人の踊り手が参加し、沿道の観客からは大きな拍手が送られました。



**地域行事** ごう音とともに削り出される芸術作品  
第11回東北チェーンソーアート競技大会

第11回東北チェーンソーアート競技大会が、6月9日、10日にわたり県立北欧の杜公園で開催され、19人の選手が大小のチェーンソーを使って秋田杉の丸太から様々な芸術作品を削り出しました。

この大会は全国植樹祭の開催を記念して始めてから、今年で11回目。参加者は、高さ2m、末口約50cmの秋田杉の丸太を9時間で作品に仕上げました。

会場には多くの観客が詰め掛け、巧みな技術で作品が仕上がる様子を興味深く見入ったり、カメラに収めたりして楽しんでいました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



**地域行事** 想いを込めて田植え  
秋田内陸線たんぼアート2018

内陸線の車窓から眺めるたんぼアートを制作する田植えが、5月24日に阿仁小湊地区と小又平里地区、5月26日に小ヶ田地区で行われ、地元小学生や地域住民が参加しました。たんぼアートは、たんぼをキャンパスに見立て、アート用に開発された稲を植え、色とりどりの葉や穂によって絵や文字を描きます。

参加者はこの日、色別に分けられた区域に一株一株ていねいに植えて汗を流し、夏に姿を現すアートの出来栄に期待を寄せました。たんぼアートは、7月から9月上旬に見頃を迎える予定です。



**都内総会** ふるさと阿仁を懐かしむ  
第32回東京圏あに会総会・懇談会

東京圏あに会(武田国雄会長)の総会・懇談会が、5月27日に東京都台東区のオーラムで行われました。

今年で32回目の開催となったこの日の総会では、始めに武田会長が「急激な過疎化が進む中、阿仁地区が移住・定住先になるよう、地域の特色を活かした魅力ある活動を続けたい」などとあいさつ。次に津谷市長が北秋田市や阿仁地域の近況を踏まえた市政の方針を報告し、続いて議事を行いました。

総会終了後の懇談会では、互いの再会を喜び合い、ふるさと阿仁の思い出話に花を咲かせました。



**水防訓練** 水害に備え消防団が訓練  
北秋田市水防訓練

平成30年度北秋田市水防訓練が、6月3日に米代川鷹巣橋下流の河川敷で行われました。

水防訓練は、出水時における初期の防災活動および消防団員の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図り、地域住民の安全を保持することを目的に毎年実施しています。

この日は、市消防団(藤田久悦団長)の団員130人のほか、市や市消防本部から関係者が参加。様々な水害を想定し、堤防崩壊を防ぐシート張り工や、浸水域拡大による救助活動の訓練などが行われました。



**記念式典** 鷹巣小児童と節目を祝う  
森吉山ダム広報館来館者10万人達成セレモニー

森吉山ダム広報館の来館者が、6月11日に10万人を達成し、同館で記念セレモニーが行われました。

この日、記念すべき10万人目の来館者となったのは見学を訪れた鷹巣小学校(嶋田美香校長)の4年生67人。児童を代表して三沢爽夏さんと長崎蒼大さん、津谷市長、佐藤直哉支所長の4人がぐすだまを開披したあと、鈴木心遠さんが津谷市長から入館証明書を受け取り、節目を祝いました。最後に、津谷市長が「今日は森吉山ダム広報館でダムの役割や歴史をじっくり勉強してほしい」などと述べました。

